

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 東京製鐵株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒100-0013 東京都千代田区霞が関1丁目4番2号 大同生命霞が関ビル12階	
本票作成	部署名：総務部 安全環境防災課				
主たる業種	分類コード	2	2	業種名：鉄鋼業	
事業の概要	各種鉄鋼製品(形鋼・異形棒鋼・ホツコイル・酸洗コイル・溶融亜鉛メッキコイル・カットシート等)の製造及び販売。				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山工場		岡山県倉敷市南畝4丁目1番1号	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input checked="" type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数                      1    所                      ●車両台数 (②該当の場合)                      台)				

計画期間	平成22年度                      ~                      平成26年度                      (5 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 0.7 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成21年度)			目標年度 (平成26年度)					
	588,043.0 t CO <sub>2</sub>			583,855.0 t CO <sub>2</sub>					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成21年度) の排出量					
	①	岡山工場		588,043.0 t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産数量	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		542.6	538.7
		kg CO <sub>2</sub> / ( t )	kg CO <sub>2</sub> / ( t )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成21年度)	達成率 (%)
指標の状況	電炉による普通鋼製造業	0.143kℓ/t以下	0.195kℓ/t	73.3

【目標削減率設定の基本的な考え方】

加熱炉の昇熱燃料をC重油からLNG(液化天然ガス)に転換する事により、CO<sub>2</sub>発生量の削減を図る。

**【目標削減率達成のための推進体制】**

環境マネジメントシステムであるJIS Q 14001:2004/ISO 14001:2004を2001年4月12日に取得し、登録証の交付を受ける。その後、外部審査機関による1年毎の定期審査と3年毎の更新審査を継続的に受審している。

**【排出量削減のためのこれまでの主な取組】**

工場等の名称	取組内容
岡山工場	加熱炉重油バーナー前焚き量の削減、同消火タイミングの見直し。 実施時期=2009年度より

**【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】**

工場等の名称	措置内容
岡山工場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加熱炉重油バーナーの燃料をLNG(液化天然ガス)に変更する。</li> <li>・実施予定時期=2012年1月より</li> <li>・当該措置の実施による温室効果ガスの排出量削減に期待される効果=圧延工程(下工程)の燃料原単位削減(目標▲5%)</li> </ul>

**【森林保全等吸収源対策への取組計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

当社は、鉄鋼資源のリサイクルを通じ、省エネルギーと省資源を実現して、環境の保全に貢献するとともに、先進設備の導入と技術力の向上により、需要家のニーズに応えられる高品質の製品造りと価格競争力の構築をはかることで、経済の発展に寄与しています。2009年11月には、愛知県田原市に建設した、当社として最大且つ最新の田原工場が、操業を開始致しました。この工場では、高付加価値の製品造りを目指しています。岡山工場に於いては、形鋼ラインでサイズアップ化及び高付加価値製品の開発を、又鋼板ラインでも高付加価値製品の開発を行っております。

当社のホームページには、「地球温暖化防止への取り組みと提言2010年6月25日改訂」を掲載しております。この中で、当社の製鋼方法である電炉法は、高炉法と比較した場合に、CO2排出量が4分の1(75%の削減)に過ぎない事の説明を記述しています。